

黒目 辺野古で座り込み 最後まであきらめない

【黒目・書記・根井良聡通】 23人が参加しました。一日目は沖繩北部やんばるプロジェクト2023を6月29日～7月1日に開催し、



基地建設を1秒でも遅らせるため、座り込む仲間

m、現在は8mまでの高さにテトラポットが積み重なっています。辺野古ゲート前では工事を1秒でも遅らせる為に座り込みに参加しました。

「勝つ方法は最後まであきらめないこと」を合言葉に、米軍基地の中にある沖繩の実態に触れ、現地で抗議行動を続ける仲間がカンパや寄せ書きを手渡しして連帯のあいさつを行ないました。

二日目は平和丸に乗船し海上視察と、ゲート前の座り込みです。貴重な生態系を垣間見ながら、平和丸中本船長の「辺野古側の土砂投入は95%が7月末で終わる」という話から護岸を見ると、昨年は5

平和への願いを込めて、各地で

杉並 被爆者の会が報告 世界大会は青年部が参加

【杉並・書記・双木淳志通】 7月26日に杉並支部会館にて、第25回杉並平和のつ

【練馬・書記・桑原研二】 7月25日、「練馬平和行進2023」が行われ、160人練馬支部81人が参加しました。

【練馬・書記・桑原研二】 7月25日、「練馬平和行進2023」が行われ、160人練馬支部81人が参加しました。豊玉公園の集会では、オーブンクで4年ぶりに区職労保育園分会OBがフラダンスを披露。被爆者練馬の会、核兵器禁止条約の批准を求めるねりまの会の代表が「G7広島サミットは核兵器禁止条約を全面的に正当化し、多くの被爆者を失望させた」、「核兵器のない、戦争のない平和

1人ひとりの行動が核兵器のない世界をつくる

【本部・書記・砂川恵記】 8月1日、けんせつプラザ東京にて、原水爆禁止2023年世界大会に向けた東京土建代表団結団式が行なわれ、29人が参加しました。

第一部では、石村代表団長の挨拶の後、徳田悠希さん(一般社団法人かたわら理事



主婦の会より折り鶴が託される

閉会あいさつに浅田副委員長、まことと青い空は「の弾き語りを原田あきら原水協理事が行ない閉会しました。

「保険証残して！」

制度設計自体に誤りが



保険証存続をプラカードで訴え

【本部・書記・末浪明子】 国会閉会中審査が行なわれた7月26日、東京土建が加盟するマイナバー制度反対連絡会は、来年秋に予定される保険証廃止の中止を求め、国会内集会を開催。WEBを含む600人が参加しました。

「自治体や保険者任せの『総点検』では解決しない。制度設計自体に誤りがある、マイナ保険証の運用は立ち止まるべき」と指摘。

設計者の会が20周年 設計と施工の連携強化を



あいさつする甲田会長

【本部・書記・末浪明子】 国会閉会中審査が行なわれた7月26日、東京土建が加盟するマイナバー制度反対連絡会は、来年秋に予定される保険証廃止の中止を求め、国会内集会を開催。WEBを含む600人が参加しました。

「自治体や保険者任せの『総点検』では解決しない。制度設計自体に誤りがある、マイナ保険証の運用は立ち止まるべき」と指摘。

対策の前進を設計者と施工者のより強い連携を進めよう。全支部に設計者の会を」とあいさつ。議案提案の中ではホームページの改善とあわせて「YOUTUBEでの情報発信の検討」についても触れられました。質疑では幹事の中山敷さん(八王子)が新宿支部新会館のデザインコンペで1位になった経緯を報告。最後は会場参加者の拍手で議案を承認しました。